

科目名	芸術（文学）				
担当講師名	塩谷 昌弘	所属・役職	盛岡大学文学部 准教授	資格・免許	
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 16 時間/30 時間	開講年次	1 学年前期
講義の概要	感性を豊かにし、人間に内在する様々な感情を素直に受け止めることができるようになる。また、芸術や文学に触れ自分の世界や視野を広げる。				
到達目標	近代の日本文学に描かれた病や病理を通して、人間の人生や生活について考える力を養う。				
講義回数	講義内容				
1～8	<p>文学が人間の生き方、あるいは人間というものを描く芸術だとすれば、病や病理は人間と切っても切り離せないものである。人間は、誰しも生まれて死んでいく。ある意味では、人生とは死んでいく過程でもある。従って、文学はその過程を描く。その過程のなかで、様々な出来事が展開されるが、古来、物語を劇的にするのが病や病理であった。例えば、恋愛小説では、病は恋人たちに永遠の別れを与える。こうした別れの悲哀に私たちが共感するのは、私たちがいずれ死ぬ存在だからに他ならない。</p> <p>しかし、私たちはこうした悲しい存在であるということを普段意識せずに生活している。それは私たちが死ぬ過程を「生きている」からである。「生きている」限りにおいて、私たちは私たちの人生を豊かにすることができる。この場合の豊かさとは、経済的な豊かさではない。心の充実である。心の充実は「生きている」ということが強く意識されたときに訪れる。だからこそ、死ぬ存在である私たちの人生を、文学作品を通して追体験することで、私たちは豊かになることができるはずなのである。</p> <p>この授業では、いくつかの文学作品やアニメーション作品を通して、そこに描かれた人間を知り、私たちが生きるということはどういうことなのかを考えて行きたい。その上で、私たちの人生が豊かになる方途を考えてみたい。</p>				
教科書等	文学一適宜、資料配布				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点					
特記事項					